

## 令和3年度繰越明許費繰越計算書について（土木交通部）

### 1 繰越明許費に係る繰越額について

令和3年度は、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に係る予算などを、11月補正予算において前倒しして計上したが、着実な執行に向けた取組を進めた結果、繰越額は減少（前年度比約57.1億円減の約423.5億円）。

		令和3年度	令和2年度	増減
翌年度への繰越額	a:b+e	423.5	480.6	▲ 57.1
公共事業	b:c+d	414.9	471.0	▲ 56.1
国補正予算	c	144.2	195.7	▲ 51.5
国補正予算以外	d	270.7	275.3	▲ 4.6
公共事業以外	e	8.6	9.6	▲ 1.0

### 2 公共事業費に係る年度内執行額について

国補正予算などによる国庫補助金の配分増により、前年度からの繰越額を含む年度内予算額が増加する中、計画的な予算執行を図ることにより年度内執行額が増加（前年度比約153.8億円増の約787.9億円）。

		令和3年度	令和2年度	増減
年度内予算額	A:B+C	1,210.5	1,109.1	+ 101.4
最終予算額	B	735.5	811.1	▲ 75.6
前年度からの繰越額	C	475.0	298.0	+ 177.0
年度内執行額	D	787.9	634.1	+ 153.8
翌年度への繰越額	A-D	422.6	475.0	▲ 52.4

※翌年度への繰越額は事故繰越しを含む

### 3 令和4年度の公共事業費の執行について

引き続き、事業量に応じた体制を整えるとともに、職員の負担軽減や事務の平準化の取組を更に進めることにより、計画的な予算執行に努める。

#### (1) 人員体制の充実

- ・ 任期付き職員や特別募集による職員の採用も含め、人員体制を充実

#### (2) 職員の負担軽減

- ・ 設計・積算および監督業務のアウトソーシングの更なる活用
- ・ 設計図書の実用性をチェックするシステムの試行導入

#### (3) 事務の平準化

- ・ 債務負担行為の積極的な活用による発注時期の分散化

## (参考) 款項別繰越額

款・項	令和3年度		令和2年度		増減	
	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)	事業数	金額 (百万円)
土木交通費	38	42,140	41	48,015	▲ 3	▲ 5,875
土木交通管理費	1	15	5	318	▲ 4	▲ 303
道路橋りょう費	6	23,899	9	28,815	▲ 3	▲ 4,916
河川費	12	7,884	10	9,434	+ 2	▲ 1,550
砂防費	9	3,017	8	3,713	+ 1	▲ 696
都市計画費	2	1,626	3	2,341	▲ 1	▲ 715
公園費	4	5,554	4	3,367	-	+ 2,187
建築費	2	35	2	27	-	+ 8
住宅費	2	110	-	-	+ 2	+ 110
災害復旧費	2	208	2	49	-	+ 159
土木交通施設 災害復旧費	2	208	2	49	-	+ 159
合 計	40	42,348	43	48,064	▲ 3	▲ 5,716